

平成19年度 兵庫県立学校教員の長期社会体験研修を終えて

兵庫県立東播工業高等学校 教諭 三好 恵三

1 研修先

特別養護老人ホーム しゅうらく苑

三木市別所町興治

2 研修先の概要

三木市で最初にできた最大規模の特別養護老人ホーム 定員はホーム106名、ショートステイ14名、併設デイケアサービス35名、職員約90名。

3 研修期間

平成20年1月25日～3月14日 (2ヶ月)

4 研修内容

仕事は①ショートステイ利用者の送迎介助。

②営繕の仕事。

ショートステイの送迎は苑の方と二人で行いました。営繕の仕事は、トイレや水道の部品交換や、配管の水漏れの応急対策でした。最初に行ったのは、介護員室電話配線の付け替えでした。ナースコールケーブルの修理も行いました。その他、浴室から廊下への流水対策、浴室のタイル目地の補修、浴室廊下の剥がれた床の接着などを行いました。また、居室のじゅうたん固定、おひな様の組み立て、車椅子の選別、洗濯乾燥機のカバー部分への固定器具の取り付け、物置の扉の車輪交換などを行いました。蛍光灯の交換や、厨房の排水管のつまり除去、洗濯室蛇口の配管修理なども行いました。苑は24時間フルに回転しており、修理のタイミングは難しいものでした。多くの作業は初めての経験でした。



研修者



ホーム 機能体操



デイケア 機能体操



おひなまつり会(ホーム介護士)



食事介護



老人大学による皿回し

5 研修を終えて

特別養護老人ホーム「しゅうらく苑」での2ヶ月に及ぶ研修は、本当に楽しいものでした。

朝はラジオ体操から始まりです。館内には、日に何度も歌声が聞こえ、心が和みます。入所者の楽しみは、食事と入浴だと思います。また、日に二度あるリハビリ体操（機能体操）や歌や毎月の行事などもそうでしょう。2月はボランティアによる踊りや苑の職員による炭鉦節などで、3月はお雛まつり会でした。趣向を凝らした出し物には見ごたえがありました。入所者本位のサービスには頭が下がりました。館内は常に25度と暖かく保たれていました。

しゅうらく苑では週初めに朝礼が行われます。初めにしあわせの歌を斉唱し、しゅうらく苑の基本理念を全員で唱えることから始まります。基本理念とは、①利用者の尊厳を守り本人の意思・人格を尊重し、常に利用者の立場に立って福祉サービスを提供する。②明るく家庭的な雰囲気を持ち地域や家庭との結びつきを重視する。その後、各部署の代表者からの報告連絡事項で終わります。基本理念を毎週反復し唱えることは、基本理念を常に頭に置いて行動せよということであり、介護士や職員全員の行動規範だと思いました。この基本理念は、学校にも通ずることだと思いました。

今回の研修では、介護福祉の現場の厳しさと、それを支える人の優しさを知りました。直接の介護の手伝いはできなかったにしても、補助的に苑の手伝いできて、よい体験をさせていただきました。この経験をこれからの教員生活に活かしていきたいです。